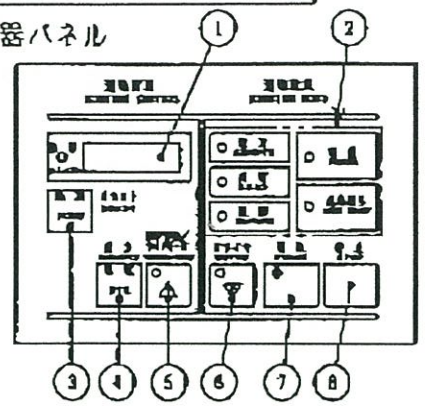
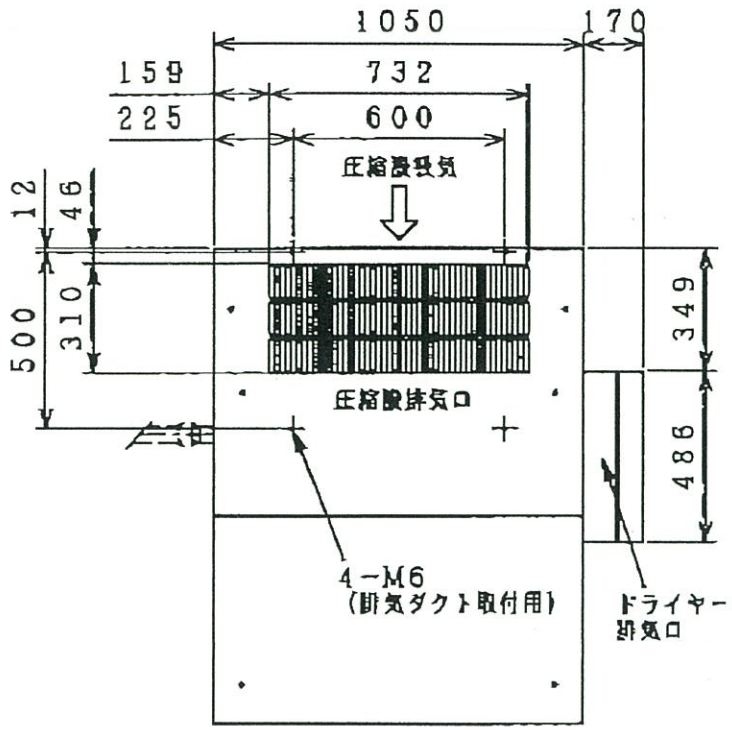
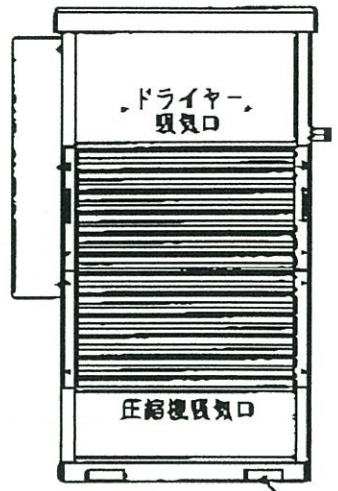
349S06636

計器パネル



記号	記号説明	記号	記号説明
1	運転管理（デジタルモニター）	6	表示切替／ドライヤースイッチ
2	運転状況	7	運転スイッチ
3	リセットスイッチ	8	停止スイッチ
4	遠方設定スイッチ		
5	表示切替／ワイドモードスイッチ		



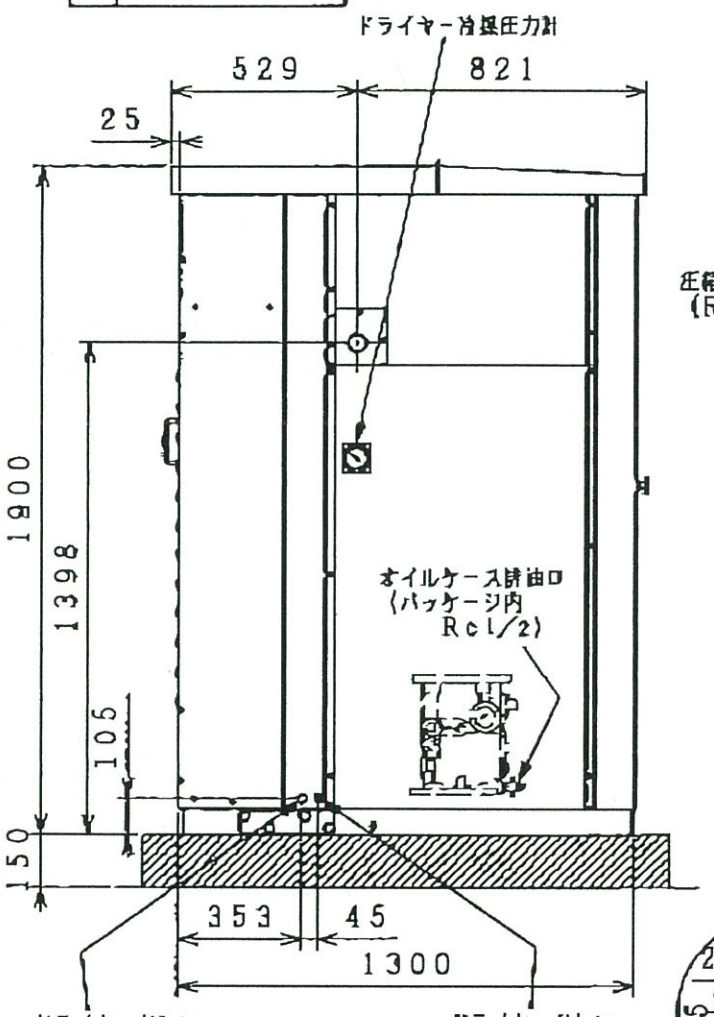


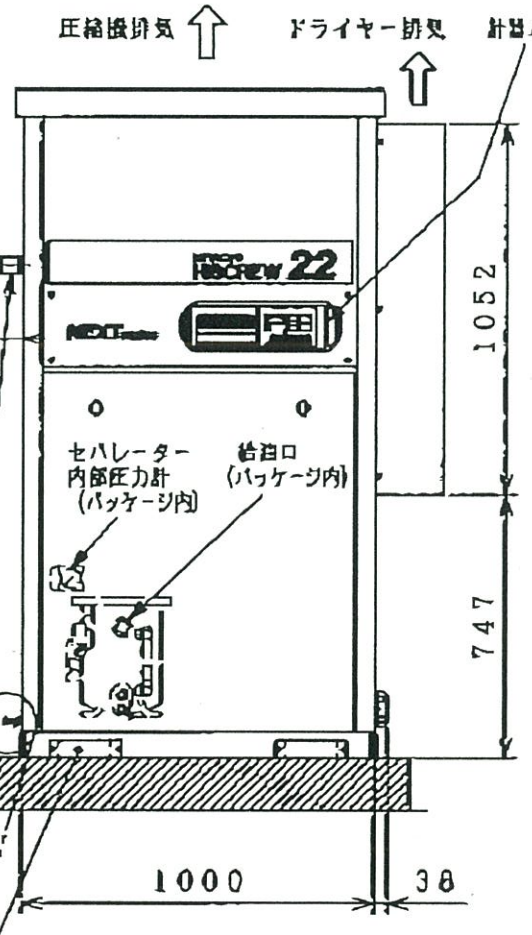
【背面図】 水抜き穴（2ヶ所）
雨水の排出のため塞がないように注意してください。

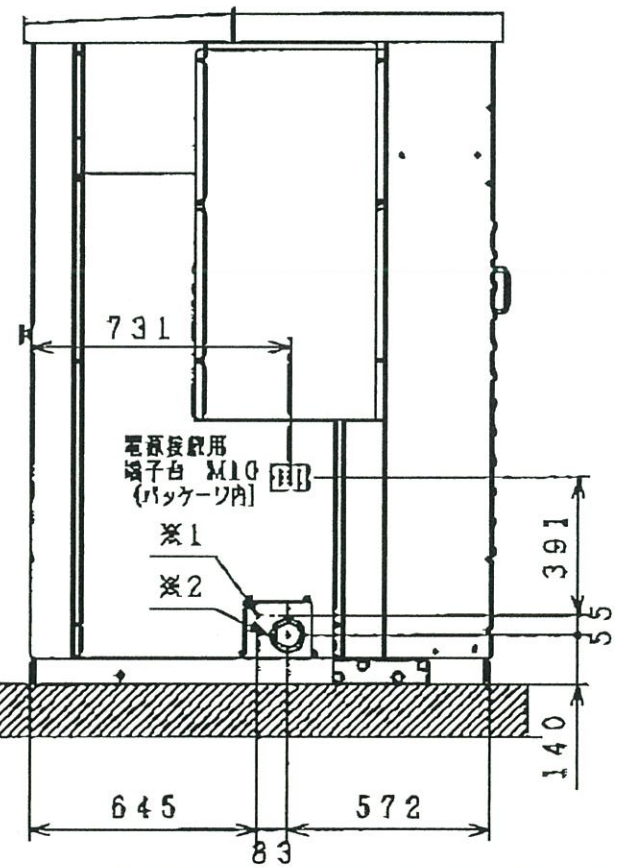
仕様

型式		OSPB-22M5ARN	OSPB-22M6ARN
吐出し圧力【ゲージ圧力】	MPa	0.70 (0.85) (注1)	
吐出し空気量 (注2)	m³/min	3.9 (3.4) (注2)	
雰囲気温度	℃	5～40	
主モーター公称出力	kW	22【全閉外扇】	
ファンモーター出力	kW	0.75【全閉】	
電源電圧	V	最高定格周波数	
電源周波数	Hz	50	60
必要換気風量	m³/min	272	
電源トランス容量 (kVA)	200V級	50以上	
	400V級	50以上	
電源ケーブル太さ (mm²)	200V級	38以上 最大 50 (注3)	
	400V級	14以上 最大 50 (注3)	
ドライヤー出口露点 (注4)	℃	10 (圧力下)	
冷凍機公称出力	kW	1.1	
質量	kg	700	
必要空気溜容量	m³	0.43【エコモード利用時0.7】	

注1. （ ）内はオプション仕様を示します。
注2. 吐出し空気量は、圧縮機吸込み状態に換算した値です。
吐出し空気量の誤差幅については別途ご契約ください。
注3. 配線長さは10m以下の値です。10mを超えるときは、より太いケーブルが必要です。その際、今度端子等により圧縮機側では最大値以下にしてください。
注4. 出口露点は周囲温度30℃の条件における値です。







ご注意
1. 本機は屋外設置が可能です。
2. 降水時に水溜りとならないように基礎は地面より150mm以上高く設け、防水処理をしてください。尚、基礎構造と基礎への取付けは、別図面【基礎ボルト位置図】をご参照ください。
3. 据付時は、底面図【据付・配管上のご注意】に示すメンテナンススペースと、吸気口へ排気が回り込まないよう考慮して、据付位置を決めてください。
4. 凝縮部の配管材は、貴社にてご用意ください。また、吐出配管において圧縮空気が冷却されますと、ドレンが発生しますので、配管末端には必ずドレン排出バルブを設けてください。
5. 圧縮機停止時に周囲温度が氷点下になる場合には、凍結防止のためアフタークーラーおよびドライヤーのドレン抜きを行ってください。
6. 必要容量以上の空気溜を設置してください。
7. 始動盤には、漏電遮断器（BLB）は含まれていませんので、貴社にてご用意ください。なお、BLBは日立製をご使用ください。
8. 必ず"アース"を取付けてください。接続口は給油口内にあります。アース線の太さは22mm²、施工工事は、100Ω以下のD種接地としてください。電源電圧が400Vの場合は、10Ω以下のC種接地としてください。
9. 室内に設置の場合は、雰囲気温度が上昇しますので、雰囲気温度が40℃を越える場合は、圧縮機1台あたり毎の換気扇風量以上の換気扇を取付けてください。
10. 台風などの暴風雨により、想定外の大雨となった場合に、浜水混水による機器の浸水時は、運転せず日立サービスステーションにて点検を実施してください。
11. ドライヤードレン出口位置の詳細を含みます。設置場所の法律、条例に基づき適切に処理してください。

ドライヤードレン手動排出口（ホース口金φ7）
ビーコックおよび接続用継手類は付属品として納入しますので、図のようにドライヤードレン手動排出口へ取付けてください。
取付後ビーコックは「閉」にしてください。

据付け完了後2ヶ所のフォークリフト運搬用穴を付属の防音板で塞いでください。

※1 外部配線加工穴位置
現地にて単相の電源管のサイズにあわせて本位置に穴加工を実施し外部配線を接続してください。
この際、防水に配慮した電線管とコネクタを使用してください。

※2 電源接続口
（防水コネクタ サイズ63）
圧縮機の電源引き込み口配線が引き出しにくならないよう、防水電線管（サイズ63）にて施工してください。

記号	年月日	訂正者	審査者	承認者
	来歴			

番号	名称	投影法	尺度
	HISCREW NEXT OSPB-22MARN据付図		NTS

製図	【カド．ト】	2009-07-28
審査	カミヤ．ユ	2009-07-29
承認	カミヤ．ユ	2009-07-29

株式会社 日立産機システム

管理番号	改造	変更	入庫
349S06636			2009-08-24

CAD